

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 8 月 25 日

作成者：(特非)九州バイオマスフォーラム

	【施設名称】 南国興産(株)鶏糞発電ボイラー施設
	【事業主体】 南国興産株式会社
	【所在地】 宮崎県都城市
	【運転開始年】 平成 14 年 4 月
原材料	鶏糞
生産物（種類）	発電（焼却施設）
利用方法	場内動力（蒸気・電力）・余剰売電
導入目的・経緯	「家畜排せつ物法」が施行され、資源循環型農業の確立が急務の課題となっている中において、県内で発生する鶏糞のエネルギー利用のためボイラー施設を整備するとともに、発生する焼却灰を肥料として有効活用する。
設備仕様	蒸気タービン発電機出力：1,960kW/h
稼働状況	鶏ふん焼却量：100,000 t / 年
経済性関連データ	
導入効果	野積みの解消により悪臭公害や害虫公害の防止 農地への適正な施肥により、農地の自然循環機能の維持増進 地下水、河川の汚染防止 畜産農家における糞尿処理施設の必要性が少なくなる ふんの窒素成分を空気中へ還元することにより、無害化を図る
運営上の課題	特になし
備考	平成 17 年度バイオマス利活用優良表彰「農林水産省農村振興局長賞」